

ワード 2010 のワードアートを極める

オフィス 2010 からワードアートの「光彩」「影」「3D」効果などがより進化しました。また、サンプルから選ぶだけで簡単に凝った文字が作れるようになりました。しかし、ひとひねりしたい時にどこで変更したら良いのか分かり難くなりました。今回はワードアートの詳細設定を学習しましょう。

1. 重層構造で差を付けよう

① 挿入-ワードアートから「塗りつぶし(グラデーション)-灰色、輪郭-灰色」を選びます。



② 文字を入力します。

ホーム-フォント=HGP 創英角ポップ体

③ できたワードアートのコピーを 2 個作ります (ホーム-コピー-貼り付け-貼り付け)。

④ 最初に作ったワードアートをクリックして選択状態 (実線で囲まれる) にします。

- ・文字の輪郭-色: 黒-太さ: 6pt
- ・文字の効果-影-外側-右下
- ・文字の効果-影-影のオプション
- ・ぼかし: 6pt、距離: 6pt

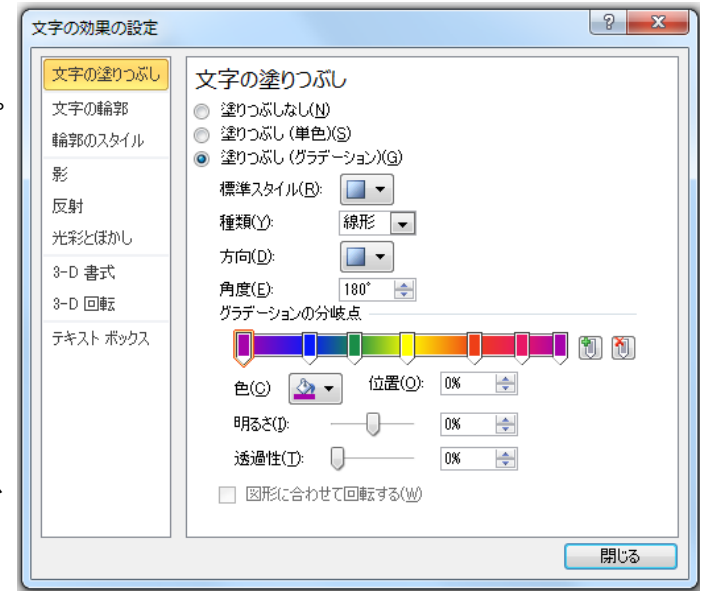


⑤ 2 番目のワードアートを選択状態にします。

- ・描画ツール-書式、文字の輪郭-輪郭の色: 白
- 文字の輪郭-太さ: その他の線、幅: 5pt

⑥ 3 番目のワードアートを選択状態にする。

- ・文字の輪郭-なし
- ・文字の塗りつぶし-グラデーション-その他のグラデーションを選び、図 3 のように設定します (標準スタイルは虹、方向: 右)。



- ・文字の効果-面取り-角度

⑦ ⑤を④の上にかぶせます。さらに⑥を⑤の上にかぶせます。



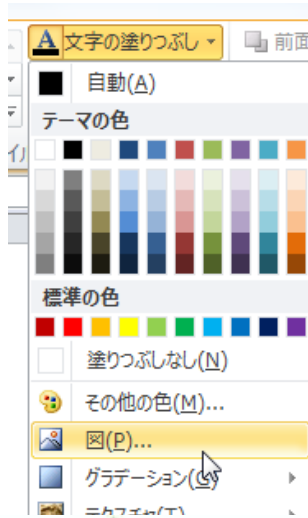
2. 文字をパターンで写真で塗りつぶす

図 5

ワード 2007 までは図 5 のように文字を画像やパターンで塗り潰すことが可能でした。

しかし 2010 からは出来なくなりました・・・しかし、これができる裏技をご紹介します。

- ① エクセル 2010 を開きます。
- ② 表示タブの□枠線 のレ点をはずします。
- ③ 挿入-ワードアートから「塗りつぶし(グラデーション)-灰色、輪郭-灰色」を選びます。
- ④ 文字を入力します。フォント=HGP 創英角ポップ体 (画像で塗り潰す場合はなるべく太い字の方が見栄えします)。
- ⑤ 文字部分をドラッグして文字を選択状態にする。
 - ・文字の上で右クリックし、文字効果の設定をクリック。
 - ・文字の塗りつぶし-塗りつぶし (図またはテキストチャ)を選択



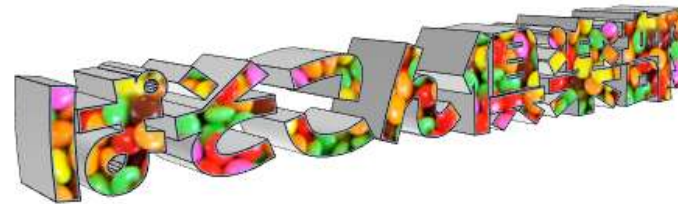
・図の挿入：の下にあるファイル(F)... をクリックし図を指定する。

- ・この時「図をテキストチャとして並べる」に図をつける
- ・閉じる
- ・パターンで塗り潰す時は、前景の色を指定するとパターンの一覧が出てきます。



- ⑥ ワードアートをクリックして選択状態にする
- ⑦ 文字の効果-3-D 回転-透視投影強調(右)
- ⑧ 文字の効果-3-D 回転-3D 回転オプション-3D 書式

- ・奥行き：色-白、奥行き-50pt
- ・輪郭：色-青、サイズ-0.5pt



- ⑨ 名前を付けて保存します。
- ⑩ ワードアートを囲むようにセルを選択する
- ⑪ ホーム-コピー
- ⑪ ワード 2010 を開き、ホーム-形式を選択して貼り付け-図

これでワードで使えます。但し、変更するにはもとのエクセルを直さないといけません (エクセルも保存しておく)。

